7. 事業

(1)各種事業活動

1. 各種事業

<珠算能力検定試験における表彰>

<ゴルフ大会>

H28. 9. 2 倉吉商工会議所会員&議員クラブ親睦ゴルフ大会 於倉吉ゴルフ倶楽部 22人参加

優 勝 河本義永氏(ひいらぎ)

準優勝 田中倶久氏 (田中住研)

第3位 加藤正義氏 (侑)大平フードシステム)

<中部元気クラブ>

H28. 6.13 第38回中部元気クラブ 於倉吉シティホテル 91人出席

講演 テーマ: 「ビジネスの成功に必要なこと」

講 師: とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点

マネージャー 松井 太郎 氏

PRタイム·交流会

H28.10.3 第39回中部元気クラブ 於ホテルセントパレス倉吉 110人出席

講演 テーマ: 「販売店でのトヨタ方式の活用紹介

~人が替わっても前進し続ける体制づくり~」

講 師:トヨタ自動車㈱国内販売店部

基盤強化推進部長 矢頭 裕貴 氏

PRタイム・交流会

<会員共済制度>

H28. 4.15 ベストウイズクラブ総合福祉制度キャンペーンPART1

~ 6.30 (鳥取県内商工会議所統一キャンペーン)

<個人保険> <うつぶき共済> <特定退職金共済>

目標 年換算保険料 21,000 千円 100 口 100 口

実績 年換算保険料 3,117 千円 173 口 124 口

H28. 9. 1 ベストウイズクラブ総合福祉制度キャンペーンPART 2

~11.30 (鳥取県内商工会議所統一キャンペーン)

<個人保険> <うつぶき共済> <特定退職金共済>

目標 年換算保険料 21,000 千円 100 口 100 口

実績 年換算保険料 1,063 千円 57 口 37 口

<地元で買い物キャンペーン>

地域住民の地元商店・飲食店の利用促進により、地域内で資金を循環させ、地域経済の活性化を図るため、「ようこそ 今日も地元でお買い物」をキャッチフレーズに地元で買い物キャンペーンを行った。

①各種イベント・会議等での地元で買い物キャンペーンPR (第5回)

○「倉吉のふしぎ発見!クイズ&スタンプラリー開催/平成28年11月20日~1月20日 参加店舗99店舗 応募総数1,520件 特賞5本、スポンサー賞223本

<倉吉まちゼミ>

各商店が講師となり、それぞれの商店が持っている専門知識や特性、ネットワークを活かして少人 数のゼミナールを無料(材料費実費)で開催した。(第2回)

○開催期間 平成28年11月7日~12月9日

○参加店舗 25店舗 全44講座開催

○受講者数 287人

2. 会員共済制度加入状況(平成29年3月31日現在)

区 分	加入事業所数	加入人員	区 分	加入事業所数	加入人員
生命共済	257 社	1,004人	個人年金	4社	9人
福祉プラン	3	4	ガン保険	13	13
特定退職金共済	65	416	ガン治療	12	22
大型版等共済	15	21	終身プラン	21	22
大型損保セット	6	6	定期保険群	15	16
総合	310	583	アクセス	1	1
低払型定期	34	42	個人扱い	16	18

3. PL保険制度加入状況(平成29年3月31日現在) 加入事業所 25社

4. 休業補償プラン加入状況(平成29年3月31日現在) 加入事業所 10社 13件

- 5. 個人情報漏えい賠償責任保険制度加入状況(平成29年3月31日現在) 加入事業所 0社
- 6.業務災害補償プラン加入状況(平成29年3月31日現在) 加入事業所 25社
- 7. ビジネス総合保険加入状況(平成29年3月31日現在) 加入事業所 4社
- 8. GSI事業者コード登録受付(平成29年3月31日現在) 受付件数 新規登録 1件 更新登録 12件
- 9. 容器包装リサイクル再商品化委託申込登録(平成 2 9 年 3 月 3 1 日現在) 申請件数 1 0 件

(2)意見活動

[1] 鳥取県中部地域における高速道路ネットワークの早期整備について

要望先 国土交通事務次官 徳山 日出男 様 他

要望者 一般社団法人鳥取県中部建設業協会 会長 高力 修一 倉吉商工会議所 会頭 倉都 祥行

期 日 平成28年4月19日

要望先 国土交通省事務次官 武藤 浩 様 他

要望者 一般社団法人鳥取県中部建設業協会 会長 高力 修一 倉吉商工会議所 会頭 倉都 祥行

期 日 平成28年9月30日

鳥取県中部地域における高速道路ネットワークの早期整備について

高速道路は、産業や観光振興における競争力を確保し、地域経済の発展を促すとともに、大規模災害や救急医療等における安全・安心を確保するなど、まさに地域の地方創生を実現するために必要最低限の社会資本であります。

平成24年には、「鳥取自動車道」及び「松江自動車道」が全線開通し、山陰と山陽を結ぶ高速道路ネットワークが形成されました。また、平成25年には、「中山・名和道路」、「名和・淀江道路」及び「鳥取西道路」の一部が開通し、山陰道として「大栄東伯ICから出雲IC」(L=104km)が繋がり、広域的な高速道路ネットワークが形成されつつあります。

このような中、山陰道のうち未整備区間である「北条道路」については、交通安全対策としての交差 点の立体化事業が着手されるとともに、昨年6月に開催された社会資本整備審議会道路分科会中国地方 小委員会にて「山陰道はわい〜大栄東伯間の全線自動車専用道路での整備が妥当」との(判断がなされ、) 判断を受けて以来、国土交通省により検討が進められ、今年8月には都市計画素案が県に手渡されるな ど、北条道路の事業再開に着実に進んでいるものと喜んでおります。

また、「北条道路」と直結して高速道路ネットワークを形成する地域高規格道路北条湯原道路についても、残る「倉吉道路」及び「倉吉関金道路」区間で重点的に整備が図られており、このうち平成25年度には「倉吉道路」の一部(L=3km)が開通しました。この開通は、IC付近の工業団地に進出する企業や観光拠点の利用客の増加など、地域の雇用環境の改善や地域活力の向上に大きく寄与しております。

このように、高速道路ネットワークの整備が地域経済に与える影響の大きさ、社会資本の整備による 地域の生産性向上について改めて認識した次第であり、本地域でも着実に高速道路ネットワークが構築 されつつあることに対しまして、心より深く感謝申し上げます。

つきましては、地元住民としても地域活性化に取り組んでいくこととしておりますが、活力溢れる鳥 取県中部地区を創出するため、引き続き次の事項について格別のご高配を賜りますよう強く要望します。

記

1 『山陰道』の整備促進

- ・「鳥取西道路」の残る区間(鳥取西ICから青谷IC)について、平成29年度に一体的な供用が 図られるよう、整備を促進すること。
- ・北条・湯梨浜地区の交通安全対策事業の促進を図るとともに、北条道路について早期事業再開を図ること。
- 2 地域高規格道路『北条湯原道路』の整備促進
 - ・現在事業中の「倉吉道路」及び「倉吉関金道路」の早期供用を図るため、重点的な予算配分を行う

こと。

公共事業予算の確保について

鳥取県中部地域は、そのほとんどが中山間地域であり、中国山地から発する急流河川が多く、平成2 5年7月の豪雨でも被害を被ったところです。

また、都市部に比べ公共交通機関の整備が遅れており、必然的に人、物の移動に制約が生じざるを得 ない状況に置かれています。特に、山間部の集落では、高齢化率が高くなっており、地域の存続が危ぶ まれる状況になっております。

したがって、広く県民に安全で安心な生活を供給するためには、より一層の社会基盤の整備充実と既 存構造物の老朽化対策等、その計画的な実施による社会資本のストック効果を維持・発展させることが 喫緊の課題となっています。

さらに、本地域における地域活力の確保に対し、地方部における雇用確保、若年人口の流出防止、迅 速な災害対応等に我々建設業界の果たす役割は依然として高い状況にありますが、近年の公共事業縮減 の影響を受け、建設業就業者も大きく減少しており、このままでは地域活力の維持や地域住民の安全・ 安心を担う我々建設業界の衰退が大いに危惧される状況となっております。

つきましては、本地域の実情をご賢察のうえ、次の事項について格別の措置が講じられますよう強く 要望します。

記

地方創生の確実な実現と社会資本のストック効果を早急に発揮させるために必要となる予算に加え、 老朽化対策に必要な予算を十分に長期的、安定的に確保すること。

[2] フィギュアミュージアム「円形劇場」構想実現に向けて(要望)

要望先 ㈱円形劇場 代表取締役 稲嶋正彦 様

要望者 倉吉商工会議所 会頭 倉都 祥行

期 日 平成28年5月25日

要 旨 旧明倫小学校円形校舎を活用したフィギュアミュージアム「円形劇場」の実現に向け、関係 者等へ実現可能な計画を提案していただくよう要望します。

[3] フィギュアミュージアム「円形劇場」への協力について(要望)

要望先 倉吉市長 石田耕太郎 様

倉吉市議会議長 高田 周儀 様

要望者 倉吉商工会議所 会頭 倉都 祥行

期 日 平成28年5月30日

要 旨 旧明倫小学校円形校舎を活用したフィギュアミュージアム「円形劇場」の実現に向け、市・ 市議会・㈱円形劇場が共通認識を持てるようご尽力いただきますよう要望致します。

〔4〕平成28年鳥取県中部地震による被害に関する要望について

要望先 倉吉市長 石田耕太郎 様

要望者 倉吉商工会議所 観光文化部会 部会長 名越 宗弘

期 日 平成28年11月14日

要 旨 平成28年10月21日午後2時7分頃に発生した「鳥取県中部地震」により、多くの被害が発生しました。倉吉市におかれましては、対策本部の設置に加え、被災者の支援活動などに取り組んで頂いていることに対し深く感謝申し上げます。今回の地震により施設や設備等の破損や売上げ減少など被害を受けた企業が多くあります。特に観光業や商業においては、施設の損傷により営業できない飲食店や旅館、風評被害により予約キャンセルなども増えており、極めて深刻な状況にあります。つきましては、当市における経済活動の一日も早い回復に向け、次の事項について早急に対策を講じられるよう強く要望致します。

【要望事項】

- ○被災した旅館やホテル、飲食店の早期復旧や事業継続に向けた財政的支援。(建物、設備、器具備品の修繕工事)特に、倉吉市打吹玉川伝統的建物群保存地区内の被災した建物の早期復旧。
- ○予約キャンセル(宿泊、宴会、会議、婚礼、イベント)や土産品店や飲食店の売り上げ減に対する 支援。
- ○倉吉未来中心や体育施設などのイベント施設の早期復旧と使用開始。
- ○復興に向けた県外者の宿泊特典(割引プラン、優遇措置)に対する支援。
- ○観光需要回復のため、割引旅行プランやふるさと旅行券交付などの財政的支援。

[5] 平成29年度市政に対する要望について

 要望先
 倉吉市長
 石田耕太郎
 様

 倉吉市議会議長
 高田
 周儀
 様

 要望者
 倉吉商工会議所
 会頭
 倉都
 祥行

 期
 日
 平成29年1月13日

平成29年度市政に対する要望について(要旨)

1. 鳥取県中部地震被害からの復興支援について

当地域においては、昨年10月21日の鳥取県中部地震により多くの建物や設備に被害を受けました。 倉吉市の震災直後からの復旧・復興への取り組みに対し感謝申し上げます。現在も集客施設や観光施設 の休止、中小企業や事業所の復旧活動、また風評被害による観光客の減少など企業を取り巻く環境は厳 しい状況にあります。今後も継続した復旧・復興支援をお願いします。

- ・集客施設、観光施設の早期再開 (復旧)
- ・観光面での風評被害の払拭対策
- ・震災復興のための補助金や特別資金の継続

2. 産業、経済振興について

(1) 地域経済の振興

当地域においては、一部大手企業や大都市部の好況感の波及は実感できず、一部の業種での繁忙感はあるものの、大半の企業が依然として厳しい経営を余儀なくされているという状況にあり、地方の人口減少問題や進展する高齢化社会という要因が不安感に一層拍車をかけているのが現状であります。

地域の経済振興においては既存企業の経営基盤強化をはじめ、地域の資源・人材・資金・情報などが 地域内で良好に循環することが重要であるとの観点から農商工連携や観光関連産業の活性化をも促す 「倉吉市地域産業振興ビジョン」の力強い進捗により産業・経済の振興を図っていただきますようお願 い致します。

(2) 公共事業の確保と地元業者への優先発注及び地元調達

地域にとってインフラ整備等に係る公共事業の果たす役割と効果は絶大なものであると認識しております。従って地域の力が強く発揮できるような新たな事業に取り組むことや民間でできることは民間に発注することなど様々な事業の積極的な確保を図っていただきますようお願い致します。

引き続き公共事業の確保と地元業者への優先発注を行っていただくとともに、建設関連資材及び市の 各出先機関からの各種物品購入についても、地元からの調達を優先していただきますようよろしくお願い致します。

(3) 中小企業の人材確保支援

中小企業においては、少子高齢化などにより雇用の確保が困難になっている状況にあります。U・I・ Jターンの促進による県外からの人材確保など施策を講じていただきますようお願い致します。

(4) 地場産業の育成支援

当地域で産出される豊富な農産物や森林・水資源等の地域資源を活用した加工品の生産や農商工連携及び6次産業化による地場産業製品の県外進出に力を入れていただきますようお願い致します。

(5) 伝統技能の保存と伝承

地域に残る伝統的技能である倉吉絣・はこた人形・土天神・竹工芸・和凧等について、その制作技能を伝承し地域に伝わる貴重な文化として保存することは重要です。

これらの地域資源を産業に結び付け、後継者育成や保存活動、商品化への支援策を講じていただきますようお願い致します。

(6) 地元での消費促進啓発

近年県東部・西部の大型店あるいは各種無店舗販売等地域外への消費流出傾向が顕著なことから、当所においては少しでも地域内での経済循環を確保しようと「地元でお買い物キャンペーン」を展開し、消費者並びに事業者への啓発を含めた活動を行っていますが、市におかれましても職員には勿論のこと市民に対しても地元の店舗等での消費行動を勧めていただきますようお願い致します。

また、この度の地震で低迷している地元の消費が拡大するような復興支援策を是非ご検討いただきますようお願い致します。

(7) 中心市街地空店舗調査活用推進

魅力ある商店街づくりと中心市街地の活性化を図るための空き家・空き店舗の実態調査と、その情報 提供を行うことによる出店希望者とのマッチング等が停滞することなく円滑に図れるよう、継続的な施 策の推進をしていただきますようお願い致します。

(8) 倉吉博物館特別展の開催で街に賑わいを創出

倉吉博物館特別展は、街中の商店と連携して割引やサービスを行うことにより県内外の観光客などで 街の中が賑わいます。年間を通しての開催をお願い致します。

3. 鳥取県立美術館の中部地区誘致について

鳥取県におかれましては、鳥取県立博物館から美術部門を独立させる方針で検討委員会を立ち上げられ、その基本構想がほぼできあがり建設場所の検討をされていると伺っております。候補地には、鳥取市、倉吉市、北栄町内の4か所に絞られているということでありますが、「県民の利便性」が極めて重要な要素であり、一方で美術品の保存環境、さらには県の文化施設が適正に配置されることの重要性などを考えると県中部への立地が望ましいと考えます。

昨年1月、県中部地区経済団体が、平井知事に県立美術館の中部地域への設置を要望しているところですが、是非とも鳥取県中部地震の復興シンボルとして県立美術館を設置していただきたく、できれば 倉吉市にとの思いを強く持っております。その実現に向けてのご努力を賜りますよう宜しくお願い申し 上げます。

4. 人口の増加策の積極的な推進について

少子高齢化の波が現実のものとして押し寄せている我が国にあって、当地域においては深刻な状況にあり将来の姿に不安を覚えます。人口減少の流れを断ち切り地域の人口を増加に転じさせることが地域の活力を取り戻すことになります。そこで、以下の例示についてもご検討いただきながら人口増加のための諸施策の積極的な推進をお願い致します。

(1) 国の認める特区の導入による産業創造、雇用拡大

国が認めている地域活性化に結び付く各種特区のうち、鳥取県或いは倉吉市の導入が有効だと期待できるものについては、その実現に向け速やかに進めていただきますようお願い致します。例えば、ワイン特区の認定を受ければ小規模のワイナリーにも取り組みやすくなり観光産業にもつながります。(産業創造、雇用拡大)

(2) 郷土への愛着教育の推進及び小学校区を維持するため存続や休校措置

地域を愛し誇りとする人材を育成するため様々な場面(家庭教育、学校教育、社会教育)を活用し、郷土に生き郷土に帰ることを促す教育力強化を図っていただきますようお願い致します。特に近年居住地の決定に主導権を発揮している女性層の活躍の場を作ることにも注力していただきますようお願い致します。(地元定住、地元回帰)

また、倉吉市内小学校における統廃合が地域住民へ及ぼす影響大であり、即ち地域力の衰退に繋がるものと認識を持っていただき、これの抑止又は休校などの策を講じていただきますようお願い致します。

(3) 観光産業の充実による交流人口の増加と雇用拡大

新たな雇用需要を生み出すため、白壁土蔵群周辺はもとより地域内に残る施設や産業を活かした観光 産業等の充実による交流人口増加策を図っていただきますようお願い致します。(雇用拡大、地域発信)

5. 中心市街地活性化計画の推進について

倉吉市におかれましては、中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の推進に取り組んでおられるところですが、株式会社赤瓦と当所が中心となり組織した倉吉市中心市街地活性化協議会の運営につきましては、業務執行に係る様々なご支援ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

そこで、多くの市民及び参画する事業者の活性化へ向かおうとする意欲を引き出し、実現可能で将来 を展望できる更なる計画づくりを行っていただくとともに、認定された基本計画においては計画に沿っ た様々な事業が円滑に進められるようにご指導並びに力強いご支援をお願い致します。

(1) 旧ナショナル会館跡地のコミュニティー施設整備

倉吉銀座通商店街に立地し白壁土蔵群や赤瓦に隣接する旧ナショナル会館跡地は、女性や観光客が集まりやすいコミュニティー施設が計画されております。中心市街地活性化のシンボルとしてこの計画が 実現しますようご支援をお願い致します。

(2) 旧明倫小学校 (円形校舎) 活用への支援

旧明倫小学校(円形校舎)は、倉吉市から㈱円形劇場に無償譲渡されフィギュアミュージアムとして の活用に向け期待の声をいただいているところです。全国からの集客が図られ明倫地区の活性化に繋が る計画認定および計画実現に向けご支援をいただきますようお願い致します。

6. 観光産業の振興について

倉吉・中部を訪れる観光客のリピート性が高いことに着目し、国・県内外への情報発信力を高め従来型の観光に加え体験型観光などを充実することも重要です。

そのために、地域資源活用による新たな観光に資する商品開発への支援や、広く観光産業振興への取り組みを行うとともに、岡山県北部をはじめ他の圏域と一体となった広域観光圏を形成し、国内からはもとより海外からの観光客誘致等旅行者の増加を図ることが必要です。

そこで、様々な観光振興策や具体的な取り組みを迅速かつ効果的に推進するため、「倉吉観光マイス協会」や「鳥取中部観光推進機構」と相互に連携協力も図っていただきながら、さらに強力な観光振興策を進めていただきますようお願い致します。

(1) 開湯1300年を迎える関金温泉の天然温泉を活用した観光資源の開発

今年開湯1300年を迎える関金温泉は、天然温泉としてその活用が期待されるところです。県内外の観光客を迎えるための観光資源の開発や集客イベント等により地域の活性化が図られますようにお願い致します。

(2) 全国規模で開催されるスポーツコンベンションやスポーツ合宿などの誘致推進

全国規模で開催される各種競技のスポーツ大会やスポーツ合宿などは関係者や家族を含む宿泊などを 伴い誘客が見込まれます。鳥取県や各競技の関係機関などと連携しスポーツコンベンションの誘致に繋 がるような取り組みをお願い致します。

7. 観光客にわかりやすい道路案内板の拡充整備について

当市を代表する観光地である白壁土蔵群周辺を訪れる観光客数は、景気や外部環境の影響もあってか増減を繰り返しながらも比較的堅調に推移しているものとお聞きしています。

昨年、宮川町に観光駐車場が整備されたところですが、駐車場へ誘導するわかりやすい道路案内や白 壁土蔵群へ誘導する案内表示の充実が求められます。

そこで、周辺道路の改良が進んでいることにも伴い、倉吉市外の各方面から市内に入りやすい道路案 内板及び市内の観光施設や観光駐車場への誘導を促す案内板の整備拡充についても対応していただき、 特にインバウンドによる海外からの観光客に対して多言語による案内表示の充実を図る等、地域を挙げ てのおもてなしを表す行動を推進していただきますようお願い致します。

8. 交通基盤の整備促進について

(1) 山陰自動車道の早期整備について

「山陰自動車道」は、中国横断自動車道「姫路鳥取線」と連係して本県中部地域が京阪神・山陽地域などとの近接性を活かして、観光や物流の活発化が図られ地域経済に大きく貢献する道路です。

また、鳥取県東部、西部との交流・物流並びに自然災害時の人の安全確保においても大きな役割を果たす極めて重要なものとなっており、大栄東伯ICから県内以西はすでに供用済みで、県東部においても鳥取西道路(吉岡温泉IC~青谷IC)は平成30年供用予定で着々と整備が進められ様々な分野において利便性向上が図られると大いに期待しています。

そこで、本県中央部に位置する「北条道路」(はわい I C~大栄東伯 I C) 区間については、現在湯梨 浜町と北栄町内では交差点の立体化工事が進められていますが、道路部分の事業化につきましても「北条湯原道路」との接続部分でもあることも踏まえ、利便性向上はもとより利用者並びに近隣住民の安全 確保が急がれますので、早期に全線自動車専用道路として事業再開に向けた関係先への働きかけをお願い致します。

(2)地域高規格道路「北条湯原道路」の早期整備について

「北条湯原道路」は、山陰道と米子自動車道を結び、全国の高速道路網とリンクして、広域交流の促進、地域の振興・活性化、自然災害時の人の安全の確保、高度医療施設へのアクセス向上等地域に大きく貢献する道路です。

現在北条ICから「倉吉道路」の一部区間(倉吉IC~倉吉西IC)までが供用されていますが、引き続き事業中である「倉吉道路」の残り部分と「倉吉関金道路」(倉吉市関金町関金宿~倉吉市小鴨間)

の早期整備供用化に向けて事業推進を図っていただきますようお願い致します。

さらに、事業化されております岡山県側の「初和下長田道路」についても、引き続き一日も早い供用 開始に向けた働きかけを重ねてお願い致します。

(3) 高速鉄道網の整備と山陰新幹線の早期実現について

国土の均衡ある発展を図り、万一災害時においては代替機能を果たしうる高速鉄道網の整備としてJR山陰本線等の電化・複線化が望まれ、さらに山陰新幹線の早期実現は、私ども中部倉吉市の経済界におきましてもそれに伴う様々な波及効果を含め大いに期待し熱望するものです。

また、北陸新幹線の小浜までのルート決定に際し、鳥取県においては舞鶴までのルートを要望されていたところですが引き続き鳥取までのルートが実現するよう進めていただきますようお願い致します。

(4) 国道179号のバイパス整備推進について

現在国道179号の倉吉市以北の経路は、倉吉市北端に接する湯梨浜町田後西交差点を東にとり、終 点である同町長瀬東交差点で国道9号「青谷羽合道路」及び「北条バイパス」と交わっています。

この道路は、生活道路と通過道路としての機能もあり年々交通量が増加しており、この沿線に商業施設や金融機関も相当数あることから、混雑が慢性的に生じるとともに当該区間での事故件数も比較的多いとのことです。

そこで、これら課題を解決するため鳥取県においては田後西交差点からはわい I Cに接続するバイパスを整備する計画を進められるとお聞きしております。

このことは、倉吉市はもとより隣接する三朝町にとっても利便性が向上し、国道としての機能を発揮できることにも繋がるとともに、観光客等地域外の利用者への進入あるいは退出経路の案内を行う際にも明快になることと期待するところです。

つきましては、本バイパス整備が早期に実現しますよう特段のご配慮をお願い致します。

(5) 倉吉駅北通り線(仮称)整備促進について

倉吉駅北側を東西に走る道路につきましては、駅北口から県道倉吉青谷線に接続する部分が狭く、歩道整備を含め安全性・利便性の向上が望まれます。

鳥取県においては、倉吉市河北地区と旧東郷町地区が倉吉駅南側を経由することなくスムーズ且つスピーディーに連絡されることと、近接する鳥取看護大学や鳥取短期大学の学生の移動が便利にしかも安全になるという効果が見込まれることから、大いに歓迎するものです。

つきましては、この区間の整備が早期に進められますよう特段のご配慮をお願い致します。

(6) 県道161号倉吉江北線整備について

天神川左岸の堤防上を通る県道161号倉吉江北線は、道路幅が狭くガードレールやセンターラインがないところもあり安全性の面で対策を望む声が聞かれます。倉吉市内から国道9号線へのアクセス道として利用する人も多くありますので、運転しやすい安全な道路に整備されますようご配慮をお願い致します。

9. 鳥取・米子~東京便の増便継続並びに航空運賃の値下げについて

当地域では、首都圏等への交通手段として航空便に大きく依存をしております。

全日本空輸㈱の米子東京便においては平成25年10月より臨時的ではありますが一日6便に増便されており、鳥取東京便においても平成28年3月から2年間は羽田発着枠政策コンテストの枠により一日5便で運行されております。これの継続実現に向けた利用促進活動を積極的に展開してまいりたいと思いますが、従来路線における航空運賃は全国的にみても依然として割高感が強く、利用者からは全国の平均価格あるいは中四国の他空港平均並みの価格設定を望む声を聞いております。

県内における経済活動等の円滑な発展のため、また鳥取・米子両空港の利用促進のためにも県内空港発着便の増便を継続して定着させることと、航空運賃の値下げについて、引き続き関係先へ働きかけていただきますようお願い致します。

10. 特急「スーパーはくと」の全便倉吉駅発着、特急「スーパーいなば」の倉吉駅乗り入れ再開について

智頭急行の特急「スーパーはくと」は、その一部が鳥取駅発着となっており、またJR特急「スーパーいなば」についても全便が鳥取駅発着となっています。

利用するビジネスマンや観光客から、これらの特急が全て倉吉駅発着にならないものかとの声を耳にします。特にスーパーはくと9号は鳥取駅に18時頃到着し普通列車への乗り換えが必要で、通勤・通学の時間帯と重なり大変不便を感じております。

鳥取県中部地区では、JR線・智頭線中部地区利用促進協議会を組織し、毎年この2つの特急の倉吉 駅発着実現について西日本旅客鉄道株式会社並びに智頭急行株式会社にお願いをしていますが、いずれ も先ず利用客の増加が要望実現に向けての必須要件であるとの意向を伺っております。

そこで、観光客の誘致、ビジネスにおける利便性、住民の移動手段における利便性向上による鳥取県中部地区の発展のため、特急「スーパーはくと」については全便倉吉駅発着を、そして過去(平成10年3月から13年3月の3年間)に1往復の倉吉駅発着便が運行されておりました特急「スーパーいなば」については、倉吉駅乗り入れの再開についてそれぞれ関係先へ働きかけていただきますようお願い致します。

11. 鳥取看護大学設置後における継続的支援について

「鳥取看護大学」が一昨年開学し、関係者のご努力と行政のご支援に対し敬意と感謝を申し上げます。 当所におきましても「鳥取看護大学・鳥取短期大学と地域の発展を推進する会」を中心に、地域における大学との協力関係を強固にしながら地域活性化に取り組んでまいります。

倉吉市におかれましても、鳥取看護大学が行っている「まちの保健室」などへの協力をはじめ引き続き円滑な運営ができますよう支援継続を宜しくお願い致します。

12. 鳥取中部ふるさと広域連合の機能強化について

倉吉市は勿論のこと周辺4町を含めた鳥取県中部地区の活性化は地域住民の願いであり、その思いを次代へ繋ぐためにも鳥取中部ふるさと広域連合が担う役割は重要であります。倉吉市が中心となり同連合の機能強化について先導的に進めていただきますようお願い致します。

[6] 平成29年度県政に対する要望について

要望先 鳥取県知事 平井 伸治 様 (鳥取県中部総合事務所長 西山信一様 経由)

要望者 倉吉商工会議所 会頭 倉都 祥行

期 日 平成29年1月23日

平成29年度県政に対する要望について(要旨)

1. 鳥取県中部地震被害からの復興支援について

当地域においては、昨年10月21日の鳥取県中部地震により多くの建物や設備に被害を受けました。 鳥取県の震災直後からの復旧・復興への取り組みに対し感謝申し上げます。現在も集客施設や観光施設 の休止、中小企業や事業所の復旧活動、また風評被害による観光客の減少など企業を取り巻く環境は厳 しい状況にあります。今後も継続した復旧・復興支援をお願いします。

- 集客施設、観光施設の早期再開(復旧)
- ・ 観光面での風評被害の払拭対策
- ・震災復興のための補助金や特別資金の継続

2. 産業・経済振興について

(1) 地域の経済対策について

当地域においては、一部大手企業や大都市部の好況感の波及は実感できず、一部の業種での繁忙感はあるものの、大半の企業が依然として厳しい経営を余儀なくされているという状況にあり、地方の人口減少問題や進展する高齢化社会という要因が不安感に一層拍車をかけているのが現状であります。

引き続き制度金融をはじめ創業・経営革新・雇用増進など企業に対する様々な支援策を通じて経済対策の一層の充実若しくは継続を図っていただく等、鳥取発の地方創生を盛り込んだ「鳥取県元気づくり総合戦略」の推進も含め、地域経済の下支えにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

(2) 公共事業の確保と地元業者への優先発注及び地元調達

地域にとってインフラ整備等に係る公共事業の果たす役割と効果は絶大なものであると認識しております。従って地域の力が強く発揮できるような新たな事業に取り組むことや民間でできることは民間に発注することなど様々な事業の積極的な確保を図っていただきますようお願い致します。

引き続き公共事業の確保と地元業者への優先発注を行っていただくとともに、建設関連資材及び県の 各出先機関からの各種物品購入についても、地元からの調達を優先していただきますようよろしくお願い致します。

(3) 中小企業の人材確保支援

中小企業においては、少子高齢化などにより雇用の確保が困難になっている状況にあります。U・I・ Jターンの促進による県外からの人材確保など施策を講じていただきますようお願い申し上げます。

(4) 地場産業の育成支援

当地域で産出される豊富な農産物や森林・水資源等の地域資源を活用した加工品の生産や農商工連携及び6次産業化による地場産業製品の県外進出に力を入れていただきますようお願い致します。

3. 鳥取県立美術館の中部地区誘致について

鳥取県におかれましては、鳥取県立博物館から美術部門を独立させる方針で検討委員会を立ち上げられ、その基本構想がほぼできあがり建設場所の検討をされていると伺っております。候補地には、鳥取市、倉吉市、北栄町内の4か所に絞られているということでありますが、「県民の利便性」が極めて重要な要素であり、一方で美術品の保存環境、さらには県の文化施設が適正に配置されることの重要性などを考えると県中部への立地が望ましいと考えます。

昨年1月、県中部地区経済団体が、平井知事に県立美術館の中部地域への設置を要望しているところですが、是非とも鳥取県中部地震の復興シンボルとして県立美術館を設置していただきたく、できれば 倉吉市にとの思いを強く持っております。現在、検討段階に入っておられると思いますが、この意をお 汲みいただき、実現に向けご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

4. 人口の増加策の積極的な推進について

少子高齢化の波が現実のものとして押し寄せている我が国にあって、当地域においては深刻な状況にあり将来の姿に不安を覚えます。人口減少の流れを断ち切り地域の人口を増加に転じさせることが地域の活力を取り戻すことになります。そこで、以下の例示についてもご検討いただきながら人口増加のための諸施策の積極的な推進をお願い致します。

(1) 国の認める特区の導入による産業創造、雇用拡大

国が認めている地域活性化に結び付く各種特区のうち、鳥取県或いは倉吉市の導入が有効だと期待できるものについては、その実現に向け速やかに進めていただきますようお願い致します。例えば、ワイン特区の認定を受ければ小規模のワイナリーにも取り組みやすくなり観光産業にもつながります。(産業創造、雇用拡大)

(2) 郷土への愛着教育の推進

地域を愛し誇りとする人材を育成するため様々な場面(家庭教育、学校教育、社会教育)を活用し、郷土に生き郷土に帰ることを促す教育力強化を図っていただきますようお願い致します。特に近年居住地の決定に主導権を発揮している女性層の活躍の場を作ることにも注力していただきますようお願い致します。(地元定住、地元回帰)

(3) 観光産業の充実による交流人口の増加と雇用拡大

新たな雇用需要を生み出すため、白壁土蔵群周辺はもとより地域内に残る施設や産業を活かした観光 産業等の充実による交流人口増加策を図っていただきますようお願い致します。(雇用拡大、地域発信)

5. 交通基盤の整備促進について

(1) 山陰自動車道の早期整備について

「山陰自動車道」は、中国横断自動車道「姫路鳥取線」と連係して本県中部地域が京阪神・山陽地域などとの近接性を活かして、観光や物流の活発化が図られ地域経済に大きく貢献する道路です。

また、鳥取県東部、西部との交流・物流並びに自然災害時の人の安全確保においても大きな役割を果たす極めて重要なものとなっており、大栄東伯ICから県内以西はすでに供用済みで、県東部においても鳥取西道路(吉岡温泉IC~青谷IC)は平成30年供用予定で着々と整備が進められ様々な分野において利便性向上が図られると大いに期待しています。

そこで、本県中央部に位置する「北条道路」(はわいIC~大栄東伯IC)区間については、現在湯梨浜町と北栄町内では交差点の立体化工事が進められていますが、道路部分の事業化につきましても「北条湯原道路」との接続部分でもあることも踏まえ、利便性向上はもとより利用者並びに近隣住民の安全確保が急がれますので、早期に全線自動車専用道路として事業再開に向けた関係先への働きかけをお願い致します。

(2)地域高規格道路「北条湯原道路」の早期整備について

「北条湯原道路」は、山陰道と米子自動車道を結び、全国の高速道路網とリンクして、広域交流の促進、地域の振興・活性化、自然災害時の人の安全の確保、高度医療施設へのアクセス向上等地域に大きく貢献する道路です。

現在北条 I Cから「倉吉道路」の一部区間(倉吉 I C~倉吉西 I C)までが供用されていますが、引き続き事業中である「倉吉道路」の残り部分と「倉吉関金道路」(倉吉市関金町関金宿~倉吉市小鴨間)の早期整備供用化に向けて事業推進を図っていただきますようお願い致します。

さらに、事業化されております岡山県側の「初和下長田道路」についても、引き続き一日も早い供用 開始に向けた働きかけを重ねてお願い致します。

(3) 高速鉄道網の整備と山陰新幹線の早期実現について

国土の均衡ある発展を図り、万一災害時においては代替機能を果たしうる高速鉄道網の整備としてJR山陰本線等の電化・複線化が望まれ、さらに山陰新幹線の早期実現は、私ども中部倉吉市の経済界におきましてもそれに伴う様々な波及効果を含め大いに期待し熱望するものです。

また、北陸新幹線の小浜までのルート決定に際し、鳥取県においては舞鶴までのルートを要望されていたところですが引き続き鳥取までのルートが実現するよう進めていただきますようお願い致します。

(4) 国道179号のバイパス整備推進について

現在国道179号の倉吉市以北の経路は、倉吉市北端に接する湯梨浜町田後西交差点を東にとり、終点である同町長瀬東交差点で国道9号「青谷羽合道路」及び「北条バイパス」と交わっています。

この道路は、生活道路と通過道路としての機能もあり年々交通量が増加しており、この沿線に商業施設や金融機関も相当数あることから、混雑が慢性的に生じるとともに当該区間での事故件数も比較的多いとのことです。

そこで、これら課題を解決するため鳥取県においては田後西交差点からはわい I Cに接続するバイパスを整備する計画を進められるとお聞きしております。

このことは、倉吉市はもとより隣接する三朝町にとっても利便性が向上し、国道としての機能を発揮できることにも繋がるとともに、観光客等地域外の利用者への進入あるいは退出経路の案内を行う際にも明快になることと期待しています。

つきましては、本バイパス整備が早期に実現しますよう特段のご配慮をお願い致します。

(5) 倉吉駅北通り線(仮称)整備促進について

倉吉駅北側を東西に走る道路につきましては、駅北口から県道倉吉青谷線に接続する部分が狭く、歩道整備を含め安全性・利便性の向上が望まれます。

鳥取県においては、倉吉市河北地区と旧東郷町地区が倉吉駅南側を経由することなくスムーズ且つスピーディーに連絡されることと、近接する鳥取看護大学や鳥取短期大学の学生の移動が便利にしかも安全になるという効果が見込まれることから、大いに歓迎するものです。

つきましては、この区間の整備が早期に進められますよう特段のご配慮をお願い致します。

(6) 県道161号倉吉江北線整備について

天神川左岸の堤防上を通る県道161号倉吉江北線は、道路幅が狭くガードレールやセンターラインがないところもあり安全性の面で対策を望む声が聞かれます。倉吉市内から国道9号線へのアクセス道として利用する人も多くありますので、運転しやすい安全な道路に整備されますようご配慮をお願い致します。

6. 鳥取・米子~東京便の増便継続並びに航空運賃の値下げについて

当地域では、首都圏等への交通手段として航空便に大きく依存をしております。

全日本空輸㈱の米子東京便においては平成25年10月より臨時的ではありますが一日6便に増便されており、鳥取東京便においても平成28年3月から2年間は羽田発着枠政策コンテストの枠により一日5便で運行されております。これの継続実現に向けた利用促進活動を積極的に展開してまいりたいと思いますが、従来路線における航空運賃は全国的にみても依然として割高感が強く、利用者からは全国の平均価格あるいは中四国の他空港平均並みの価格設定を望む声を聞いております。

県内における経済活動等の円滑な発展のため、また鳥取・米子両空港の利用促進のためにも県内空港発着便の増便を継続して定着させることと、航空運賃の値下げについて、引き続き関係先へ働きかけていただきますようお願い致します。

7. 特急「スーパーはくと」の全便倉吉駅発着、特急「スーパーいなば」の倉吉駅乗り入れ再開について

智頭急行の特急「スーパーはくと」は、その一部が鳥取駅発着となっており、またJR特急「スーパーいなば」についても全便が鳥取駅発着となっています。

利用するビジネスマンや観光客等多くの方から、これらの特急が全て倉吉駅発着にならないものかとの声を多く耳にします。特にスーパーはくと9号は鳥取駅に18時頃到着し普通列車への乗り換えが必要であり、通勤・通学の時間帯と重なりは大変不便を感じております。

鳥取県中部地区では、JR線・智頭線中部地区利用促進協議会を組織し、毎年この2つの特急の倉吉

駅発着実現について西日本旅客鉄道株式会社並びに智頭急行株式会社にお願いをしているところですが、いずれも先ず利用客の増加が要望実現に向けての必須要件であるとの意向を伺っております。

そこで、観光客の誘致、ビジネスにおける利便性、住民の移動手段における利便性向上による鳥取県中部地区の発展のため、特急「スーパーはくと」については全便倉吉駅発着を、そして過去(平成10年3月から13年3月の3年間)に1往復の倉吉駅発着便が運行されておりました特急「スーパーいなば」については、倉吉駅乗り入れの再開についてそれぞれ関係先へ働きかけていただきますようお願い致します。

8. 鳥取看護大学設置後における継続的支援について

「鳥取看護大学」が一昨年開学し、関係者のご努力と行政のご支援に対し敬意と感謝を申し上げます。 当所におきましても「鳥取看護大学・鳥取短期大学と地域の発展を推進する会」を中心に、地域における大学との協力関係を強固にしながら地域活性化に取り組んでまいります。

鳥取県におかれましても、鳥取看護大学が行っている「まちの保健室」などへの協力をはじめ引き続き円滑な運営ができますよう支援継続を宜しくお願い致します。

[7] 県民のための鳥取県立美術館設置について

要望先 鳥取県知事 平井伸治 様

鳥取県議会議長 斉木正一 様

要望者 倉吉商工会議所 会頭 倉都 祥行 他

期 日 平成28年3月6日

県民のための鳥取県立美術館設置について

【要 旨】

鳥取県立美術館の建設場所について、鳥取県教育委員会の結果を尊重していただき、倉吉市営ラグビー場への建設をよろしくお願い申し上げます。

【理由】

鳥取県におかれましては、鳥取県立博物館から美術部門を独立させる方針で整備基本構想検討委員会を 立ち上げられ、その基本構想の最終報告がなされたと伺っております。

そのコンセプト、立地条件などの調査研究に加え、必要性や相応しい立地場所に関して広く県民への意 識調査もなされ、検討委員会の過半数の委員からは「倉吉市営ラグビー場が適地である。」との意見があ ったとのことです。

これらを受けて、去る3月3日に開催されました臨時教育委員会において、県立美術館の建設場所は「倉吉市営ラグビー場」が適地であるとの結果が出されたと伺いました。

私ども中部地区経済界といたしましては、是非ともこの結果を尊重していただき、その実現に向けて力強く進めていただきますよう宜しくお願いを申し上げます。

(3) 要望等受入

(当所への要望)

○建築物の設計・工事監理業務等の業務報酬基準の準拠について

受入日 平成28年7月11日

要望者 一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会 会長 霜村将博氏

	 ○新規学校卒業者の	坪田について										
	受入日 平成28											
		石田耕太郎氏										
		等学校長協会長 佐藤	室曲管丘									
		立中学高等学校長会										
		並中子同等子(改安) 職業安定所長 前田										
	月日公共	似来女龙州文 刊山	助汉口八									
(4) 共催・後援	共催 2件											
	後援12件											
(5)調査研究	○企業景況調査(倉	吉市内の企業100	土対象、4回(4・7	7・10・1月))								
	<業況判断>											
			前年同月	七 (DI)								
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期							
	回収状況(%)	86%	8 4 %	76%	7 7%							
	全業種	-18.8	-18.5	-11.1	2. 7							
	建設業	- 5. 3	-15.8	- 6. 2	28.5							
	製造業	-47.4	-27.8	-15.7	-12.5							
	卸売業											
	小売業	0. 0	- 5. 0	-25.0	-23.5							
	サービス業	-10.0	-36.4	-30.0	11.1							
	その他	-30.0	-18.2	10.0	11.1							
		1	l									
(6)広 報												
A 刊行												
a 定期刊行	商工会議所だより	毎月1回発行	1,300部	F込チラシ 89件								
b 不定期刊行	融資制度等ガイドブ	ック 1回 500	O部									
C ホームへ゜ーシ゛	講習・講演会、検定	試験、くらしよしNa	vi、くらよし就職支	爰Navi、中小企業関連	情報他、随時更新							
d メール通信	送信回数 26回	送信先 354会員	員事業所									
B 放送・	なし											
映画製作等												
(7)証明・鑑定・												
調査												
A 証明												
a 貿易関係証明	原産地証明 7件	サイン証明 3件										
b 国内取引	なし											
関係証明												
c 営業証明	なし											
B 鑑定	なし											
C 調査	なし											
(8)信用調査	なし											

(9)各種行事								
	名 称	実施年月日		主な内容				
	第42回倉吉春まつり	28.4~5	打吹公	遠ぼんぼり点灯、ひいなの祭りくらよ				
			し、く	らよし打吹流しびな、桜杯争奪相撲選手				
			権大会	: 他				
	第40回倉吉打吹まつり	8.6	「みつ	ぼし踊り大会」への参加(80名参加)				
	「つむごう倉吉 これまでも		金管パレード、みこし、飛天 WASSO 他 飛天花火大会、楽市楽座、打吹天女コンテス					
	これからも」	8. 7						
			他					
(10) インターン								
シップ等受入	名 称	実施年月日	人数	主な内容				
	鳥取短期大学 授業「地域社	28. 8. 18~19	3人	・商工会議所のしくみと概要				
	会体験」就業体験実習			・中小企業相談所の業務概要				
				(中心市街地活性化・空き店舗対策事				
				業、創業・起業・経営革新支援事業、				
				まちづくり事業等見学)				

(11)技術技能の普及検定

A 検 定

a 珠 算

回次	施行期日	場所	人数	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	段 位	暗算	合計	
	00.4.10	for with following.	受験 者数	_			3	4	4	0	4	1	0		0	16	
	28. 4. 10	各珠算塾	合格 者数	_	_	_	2	3	3	0	4	1	0	_	0	13	
第 207	28. 6. 26	倉吉商工会議所	受験 者数	2	2	5	6	3	3	4	2	1	0	3	0	31	
旦	28. 0. 20	月百旬上云硪別	合格 者数	1	1	1	5	2	3	4	2	1	0	2	0	22	
	28. 8. 7	各珠算塾	受験 者数	_	_	_	1	3	1	0	1	0	0	_	0	6	
	28. 8. 7	分坏异型	合格 者数	_	_	_	1	1	1	0	1	0	0	_	0	4	
第	00 10 00	中部地震により中	受験 者数														
208 回	28. 10. 23	止	合格 者数														
	00 10 11	67 TH-1/25 Eth	受験 者数	_	_	_	3	3	0	1	0	1	0	_	0	8	
	28. 12. 11	各珠算塾	各珠算塾	合格 者数	_	_	_	3	2	0	1	0	1	0	_	0	7
第	20. 0. 10	A+4+>+11.0	受験 者数	3	2	7	2	4	4	1	0	4	0	0	0	30	
209 回	29. 2. 12	倉吉体育文化会館	合格 者数	1	0	4	2	4	4	1	0	4	0	0	0	20	

b 簿記

回 次	施行期日	場所	人数	1級	2級	3級	4級	合計
第143回	28, 6, 12	倉吉商工会議所	受験者数	1	14	35	0	50
第140 凹	20. 0. 12	月口何上云硪川	合格者数	0	4	7	0	11
第144回	28. 11. 20	伯耆しあわせの郷	受験者数	2	7	39	1	49
第144 凹	20, 11, 20	旧音しめ47년の称	合格者数	0	2	19	1	22
第145回	29, 2, 26	倉吉商工会議所	受験者数		30	28	2	60
另140 回	29. 2. 20	10011111111111111111111111111111111111	合格者数		7	12	1	20

c リテールマーケティング (販売士)

回 次	施行期日	場所	人数	1級	2級	3級	合計
第78回	28, 7, 9	倉吉商工会議所	受験者数		_	3	3
(3級)	28. 1. 9	月百冏上云哉別	合格者数		_	1	1
第78回	28. 7. 9	倉吉商工会議所	受験者数		2	_	2
(2級)	20. 1. 9	月日何上云硪/川	合格者数		2		2
第79回	29, 2, 15	倉吉商工会議所	受験者数	0	_		0
(1級)	29. 2. 10	月日何上云硪/川	合格者数	0	_	_	0
第79回	29, 2, 15	倉吉商工会議所	受験者数		0	_	0
(2級)	29. 2. 10	月日何上云硪/川	合格者数		0	_	0
第79回	29, 2, 15	倉吉商工会議所	受験者数		_	1	1
(3級)	49. 4. 10	月日何上云磯川	合格者数	_	_	1	1

d カラーコーディネーター

回次	施行期日	人数	1級	2級	3級	合計
第40回	99 6 10	受験者数	_	3	4	7
第40回	28. 6. 19	合格者数	_	2	2	4
第41回	00 10 4	受験者数	_	1	2	3
第41 四	28. 12. 4	合格者数	_	1	0	1

e 福祉住環境コーディネーター

回次	施行期日	人数	1級	2級	3級	合計
第 36 回	28. 7. 10	受験者数	_	10	2	12
第 30 凹	28. 7. 10	合格者数	_	6	0	6
第 37 回	90 11 97	受験者数	_	13	4	17
男31 凹	28. 11. 27	合格者数	_	9	2	11

f ビジネス実務法務

回 次	施行期日	人数	1級	2級	3級	合計
第39回	28. 7. 3	受験者数		8	13	21
第39回	20. 1. 3	合格者数	_	1	10	11
笠 40 回	00 10 11	受験者数	_	11	11	22
第40回	28. 12. 11	合格者数	_	1	7	8

(12)取引紹介 (照	
会を含む)	
A 国内取引	なし
B 国外取引	なし
(13) 取引紛争の	なし
調停・仲裁(クレ	
ーム相談も含む)	
(14)相談・指導	なし

(15)経営改善普及事業

a 経営指導員の支援、巡回窓口相談支援

7,22		· 支援専門員設	対象	経営	経営	情報	金 融	税務	労 働	取引	環境	その	計
		月数	企業	革新	一般	化		55 55	7		対策	他	
		60 ヵ月	数										
			企業	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
		製造業	93	73	72	6	5	4	8	9	34	161	372
	巡	建設業	101	30	65	3	3	17	3	3	36	179	339
経	口	小売業	209	143	175	23	18	19	3	16	106	484	987
営	支	卸売業	34	19	19	2	0	0	0	0	6	65	111
支	援	サービス業	200	123	127	15	45	19	6	6	57	362	760
援		その他	55	4	27	1	5	4	1	1	12	91	146
専		計	692	392	485	50	76	63	21	35	251	1, 342	2, 715
門		製造業	46	31	69	2	7	6	0	11	0	1	127
員		建設業	51	8	54	1	5	4	19	2	0	2	95
を	窓	小売業	76	69	149	3	23	11	2	8	0	6	271
援	口 支	卸売業	12	19	9	0	2	0	0	1	0	2	33
件	援	サービス業	85	78	120	1	19	15	11	5	0	4	253
数	1/2	その他	30	9	35	0	14	7	0	1	0	0	66
		計	300	214	436	7	70	43	32	28	0	15	845
	Δu	巡回支援	4	2	8	0	2	0	0	0	0	0	12
	創	窓口支援	9	4	42	0	12	1	1	0	0	4	64
	業支	計	13	6	50	0	14	1	1	0	0	4	76
	援	創業に至っ た件数	15										

b 経営革新 の支援

法認定経営革新計画承認件数 県版経営革新計画承認件数

1件

補助金申請額

補助金申請額 10,000,000円 65, 558, 000円

県版経営革新<復旧・復興型>申請件数 245件

17件

補助金申請額 898,036,974円

c 講習会等の開催による支援

			経営	経営	情報	金 融	税務	労 働	取引	環境	その	計
			革 新	一般	化					対 策	他	
集団	計	回数	1	3	3	0	0	10	0	0	1	18
支 援	ŧΤ	人数	18	49	45	0	0	206	0	0	10	328
個 別	計	回数	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
支 援	ŧΤ	人数	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10

講習会・講演会・研修会開催状況

開催年月日	講習会・講演会・研修会の内容	参加人員
《集団指導》		ŗ
平成 28 年	新入社員研修	人
4月12日 (火)	会場 倉吉未来中心セミナールーム1	0.0
	講師(㈱インタープロス ビジネスコーディネーター 吉田由佳 氏	2 9
4月13日 (水)	新入社員研修	
	会場 倉吉未来中心セミナールーム1	3 0
	講師(㈱インタープロス ビジネスコーディネーター 吉田由佳 氏	
7月1日(金)	マネジメントスキルアップセミナー	
	会場 ホテルセントパレス倉吉	
	講師 (公財)産業雇用安定センター上席コンサルタント	4 1
	杉江伸一朗 氏	
7月9日(土)	新規顧客開拓セミナー	
	会場 倉吉商工会議所	
	講師 内閣府地域活性化伝道師	2 0
	経済産業省タウンプロデューサー	
	岡崎まちゼミの会 代表 松井洋一郎 氏	
7月10日(日)	新規顧客開拓セミナー	
	会場 倉吉商工会議所	
	講師 内閣府地域活性化伝道師	9
	経済産業省タウンプロデューサー	
	岡崎まちゼミの会 代表 松井洋一郎 氏	
7月19日 (火)	創業セミナー	
	会場 倉吉シティホテル	1 0
	講師 ジャイロ総合コンサルティング(株) 渋谷雄大 氏	
9月2日(金)	チーム力向上セミナー	
	会場 ホテルセントパレス倉吉	2 1
	講師 (同)坪内美樹事務所 代表 坪内美樹 氏	
9月20日 (火)	売上向上セミナー	
	会場 ホテルセントパレス倉吉	20
	講師 Officeアイム 代表 森川あやこ 氏	
10月20日(木)	電話応対の基礎スキルアップセミナー	
	会場 ホテルセントパレス倉吉	2 3
	講師 ㈱才感知創研究所 代表取締役 肥田木恭子 氏	
10月21日(金)	電話応対の基礎スキルアップセミナー	
	会場 ホテルセントパレス倉吉	1 7
	講師 (㈱才感知創研究所 代表取締役 肥田木恭子 氏	
11月16日 (水)	労働関連施策説明会	
	会場 倉吉シティホテル	1 2
	講師 鳥取労働局	
11月16日 (水)	ネットショップセミナー	0.1
	会場 倉吉シティホテル	2 1

	講師 オフィス平山 代表 平山 治氏		
11月24日 (木)	新入社員フォローアップ研修		
	会場 倉吉未来中心セミナールーム1	1 2	
	講師 (株)インタープロス 吉田由佳 氏		
平成 29 年	事業承継セミナー		
1月23日(月)	会場 倉吉シティホテル	1 7	
	講師(㈱アテーナソリューション	1 7	
	代表取締役 立石裕明 氏		
1月30日(月)	ネットショップセミナー		
	会場 倉吉シティホテル	2 1	
	講師 GMOメイクショップ(株)	2 1	
	法人営業部 辻井利由貴 氏		
2月3日(金)	会計ソフト講習会		
	会場 ほうき塾	3	
	講師 ほうき塾インストラクター		
3月7日 (火)	電話応対の基礎スキルアップセミナー		
	会場 ホテルセントパレス倉吉	1 2	
	講師 (㈱才感知創研究所 代表取締役 肥田木恭子 氏		
3月16日 (木)	管理職向けセミナー		
	会場 倉吉シティホテル	9	
	講師 鳥取短期大学ソーシャルラーニングコーディネー	3	
	ター 岩世 麗氏		
3月29日(水)	経営力向上計画策定セミナー		
	会場 ホテルセントパレス倉吉	18	
	講師 ㈱ネクストフェイズ 代表取締役 東川 仁 氏		
《個別指導》			
平成29年2月17日(金)	税務申告相談会	10	
~3月3日(金)	会場 成徳公民館、倉吉市関金総合文化センター	10	
(5 日間)	協力 中国税理士会倉吉支部		
2月13日(月)~	所得税申告指導		
2 /1 10 H (/1/	別待枕中百拍等	4 2	

d 金融斡旋								
				斡旋件数	貸付	件数	斡旋総額 (千円)	貸付総額 (千円)
	国	→	役・特別	4件		3件	9, 500	7, 500
	民生	(至 資金	5件		5件	22, 500	22, 500
	活金	環境	改善資金等	0件		0件	0	0
	融公	新	削業融資	0件		0件	0	0
	庫		計	9件		8件	32, 000	30, 000
		県	制度融資	283 件		283 件	5, 083, 346	5, 083, 346
	そ	市町	村制度融資	0件		0件	0	0
	の		議所ローン	0件		0件	0	0
	他	その	也金融機関	0件		0件	0	0
			計 	283 件		283 件	5, 083, 346	5, 083, 346
		合	計	292 件		291 件	5, 115, 346	5, 113, 346
e 社会保険等の				T				
事務代行			事務組合				<u>洪済</u>	
	委託事業場数 対象従業員数 小規模企業共済			中小企	業倒産防止	その他の共済		
		94件	527人		者数		共済加入者数	制度加入者数
		9414	327人		129人		17件	一人
f 記帳継続指導								
			設置人数	雇用延日数	指導延	E日数	対象事業者数	うち機械化
	l	東任		_			_	_
		手当	1			9 0	2 0	_
	謝金	<u> </u>		_			_	_
(16) 企業専門家			所専門家派遣事業		延べ2			
派遣・相談等				ネス創造等支援事		サボ)		
(17)				窓口/毎月第3金	催口		相談伯	牛数 1件
(17)企業等人材育成支援			支援助成金 2位 全成支援活動(2)	+ 社会人講師派遣)	1 佐. (港師 1	5 ()	
(18) 商品開発販			· 用		111 (1	1444-ih T	070	
路開拓支援	4. N	□3日日17月7日別久赴1	11/11/11/12/12/11/11/11/12	911				
(19) 商業活動新	1. 倉	含吉市からの	受託事業として	平成27年度に引	き続き中	心市街地	也の空き店舗を賃	借し、新たに事業
規参入支援事業	を始める出店者の募集・審査を行い出店後の経営支援も含めた施設管理運営を行った。							
	2. 事業內容							
	・出店者の募集及び選考							
	・出店者の経営及び新規独立開業に関する助言指導							
	・建物の賃貸借及び管理 ・チャレンジショップ運営協議会の設置及び運営 他							
			/ョップ連宮協議3 渚の募集(3人)		旭			
	J. 5	# Z Z 妍山店 募集期間		月~4月22日ま	で			
		クケンドフグリトリ	1/2/2070)	, 1/100HA	`			

応募者数 4人 平成28年5月13日 (H28.7月から出店) 審査会 出店者 【店舗1】「Gigi Jolie」牧田 瑠実(wax 脱毛、ネイル) 【店舗2】「enJOINT」 片野坂 英 (スポーツマッサージ) 【店舗3】「カンタビルカ」福田 裕子(はさみパン販売) オープニングセレモニー 平成28年7月28日 4. 第23期出店者の募集(3人) 募集期間 平成28年12月~平成29年1月27日まで 応募者数 3人 審査会 平成29年3月1日(H29.7月から出店) 出店者 【店舗1】「Cuora」山本 祐美(エステ、手作りアクセサリーの販売) 【店舗2】「くすくす工房」岸下 洋子(木工芸品の販売) 【店舗3】「和カフェ茶屋」松島 美佳(飲食店) 5. チャレンジショップ運営協議会 2回 (20) 倉吉市制度 1. 倉吉市から倉吉市制度融資に関する事務を受託し、制度融資全般に係る申込書の受理・調査・指導、 融資事務 及び市中小企業小口融資審査委員会等の事務を行った。 2. 受託期間 平成28年4月1日~平成29年3月31日 3. 取扱実績 ・市中小企業小口融資審査委員会 開催なし (21) とっとり企 1. とっとり企業支援ネットワーク連携強化事業として、管内中小企業等の経営課題に対して、当所、 業支援ネットワ 金融機関、信用保証協会、産業支援機関及び県が連携して経営支援や金融支援を行った。 ーク連携事業 2. 事業内容 ①とっとり企業支援ネットワーク連携事業における企業の経営支援 ・チーム支援企業 16社(新規支援4社、継続支援12社) (22) 消費税軽減 1. 平成26年4月実施の消費税引き上げ及び導入予定の軽減税率に対して、日本商工会議所から受託 税率対策窓口相 し事業者が消費税を円滑かつ適正に転嫁対応できるよう専門家の派遣やセミナーを開催した。 談事業 2. 受託期間 平成28年2月10日から平成29年2月20日 3. 事業内容 ①専門家の派遣 6社 13回 ②セミナー等の開催 ・消費税転嫁対策セミナー 平成28年8月23日 参加者 15名 (23) 倉吉市中心 1. 倉吉市が策定する中心市街地活性化基本計画及び認定基本計画の実施に必要な事項に対して協議・ 意見具申するため、当所に協議会を設置し中心市街地活性化事業の円滑なる実施に向け取り組んだ。 市街地活性化協 議会事業 2. 倉吉市中心市街地活性化基本計画に関する協議及び意見の提出 • 新規認定 平成27年6月30日 ・変更認定 平成29年3月24日 (意見書3回めの提出) 3. 事業内容 ①事業推進コーディネーターの設置事業 杉谷第士郎 (H28.5.10~H29.3.31) タウンマネージャーの設置事業 田栗 進 氏 (H28, 10, 1~H29, 3, 31) 中心市街地活性化基本計画に掲げる活性化事業のブラシュアップ、連携促進及び新事業の提案並 びに関係相互の意見調整 ②各種会議の開催 総会

	第1回 H28. 5.10 平成27年度事業報告・収支決算、平成28年度事業計画・収支予算承認				
	第2回 H28.10.19 平成28年度収支予算補正承認				
	第3回 H29. 2.10 認定基本計画の変更案承認				
	・幹事会3回				
	・事務局連絡会議8回				
	③役員・会員数等				
	会員38会員				
	幹事会 7名(幹事長1名、副幹事長1名)				
	事業推進コーディネーター1名 タウンマネージャー1名 臨時職員1名				
(24) とっとり中					
部発信プロジェ					
クト事業	2. 参加事業者 52事業所 (内倉吉市16事業所)				
クト争未					
	3. 事業内容 ・商品開発、既存商品ブラッシュアップ支援				
	・鳥取県内及び県外商談会等出展による商品PRと販路開拓支援				
	・「独自の流通システム」構築に向けた検討 他				
	3. 事業成果 ・アコメヤトウキョウとのマーケットイン型商品開発				
	5社(内倉吉市 2社)				
	・いしはら商品とのマーケットイン型商品開発				
	4社(内倉吉市 2社)				
	・各種商談会への参加による新規取引件数 24社40件(内倉吉市 3社7件)				
(25)女性会	会員数 37人(平成29年3月31日現在)				
の活動	主な活動 例会6回 役員会 12回 委員会(総務、まちづくり、広報、会員)				
	中国大会・全国大会への参加、未来ウオーク・長谷の観音市に出店				
	設立20周年記念式典 H28.10.12 倉吉シティホテル				
(26) 青年部	会員数 49人(平成29年3月31日現在)				
の活動	主な活動 例会 10回 役員会 13回(地震により1回減)				
	委員会(和こころ~Cocoro、30 周年、NEXT チャレンジ、未来創造)				
	他県青年部と交流、県下青年部合同例会、青年会議所・青年中央会との交流				
	創立 30 周年記念式典 H28. 11. 12 鳥取短期大学・ホテルセントパレス倉吉				
8. 登録	平成28年度特定商工業者法定台帳の更新については、4月1日事業年度開始と共に着手。				
(1)法定台帳	7月15日法定台帳の整理を完了し名簿を作成した。				
	登録事業者数 682件(平成29年3月31日現在)				
	(内訳) 法人 682件 個人 —人				
9. 会館、事務所等	所在地				
9. 云眶、事務所等 (1) 土地	面 積 803.55㎡ (約243坪)				
(2)建物					
(2))建物	名 称 倉吉商工会議所会館				
	建設時期 昭和43年11月				
	建築面積 延床面積 1, 133.05㎡ (343.37坪)				
	横 造 鉄骨鉄筋コンクリート造り地上三階 塔屋1階				
	外 装 アルミスパンドレル張り・一部大理石張り				
	建設費 77,000,000円				
	主な使用内訳				
	1階 鳥取県信用保証協会倉吉支所(貸事務所、138.08 m²)				
	(一社) 倉吉青年会議所(貸事務所、58.4 m²)				

第三会議室 (50.42 m²、25 人) 休憩室 (11.21 m²) 2階 会頭室(39.81 m²) 事務局(111.09 m²、倉吉商工会議所、(社)倉吉法人会) 議員会議室 (83,09 m²、30 人) 相談室 (6.6 ㎡、4人) 特別相談室 (33.12 m²、10 人) 更衣室 (15.51 m²) 3階 アクサ生命保険㈱倉吉分室(貸事務所、60.56 m²) 鳥取県中小企業団体中央会倉吉出張所(貸事務所、8.47 m²) 鳥取県倫理法人会(貸事務所、19.36 m²) 第一会議室(138.94 ㎡、75 人) 第二会議室 (47.85 m²、24 人) 経営相談室 (13.6 m²、8 人) ※会館耐震改修工事の実施 工期 平成28年12月から平成29年6月 (予定) 会館耐震改修工事現場説明会 H28.10.21 / 会館耐震改修工事入札 11.7 侑酒井建設落札 ※会館共同防災管理協議会開催 H28. 9. 6 / 消火・避難訓練実施 11.8 (3) 施設 会館前に「倉吉市 白壁土蔵群・赤瓦周辺観光案内図」を設置 (H25.1.29~) A 観光案内板 B 駐車場 駐車場 31台収容 10.関係団体への 加入および連携 1. 所属委員会: 観光委員会、地域活性化委員会、情報化委員会のそれぞれ委員 (1) 日本 2. 会議等 商工会議所 場所 開催年月日 会 議 名 出席者 H28. 5.19 専務理事・事務局長会議 函館国際ホテル 佐々木専務理事 9. 15 通常会員総会 帝国ホテル 倉都会頭 H29. 3.16 通常会員総会 帝国ホテル 佐々木専務理事 (2) 中国地方商工 1. 役員等 理事 会頭 倉都祥行 会議所連合会 幹事 専務理事 佐々木敬宗 2. 会議等 会議名 開催年月日 場所 出席者 H28. 6.10 幹事会 ANA クラウンプ ラザホテル広島 佐々木専務理事 7. 4 ANA クラウンプ ラサ オテル広島 佐々木専務理事 総会 11. 21-22 中小企業相談所長会議 江津ひと・まちプラザパレッ 森中小企業相談所長 トごうつ 専務理事会議 三原国際ホテル 佐々木専務理事 12. 7 おルセンチュリー 21 広島 H28. 2. 20 事務局長会議 柴田事務局長 (3) 鳥取県商工会 1. 役員等 副会長 会頭 倉都祥行 議所連合会 理事 副会頭 河越行夫、大田英二

監事 副会頭 笠見和則 幹事 専務理事 佐々木敬宗

2. 会議等

開催年月日	会 議 名	場所	出席者
H28. 4.22	第1回幹事会	米子商工会議所	佐々木専務理事、柴田事務
			局長
6. 3	第2回幹事会	鳥取商工会議所	佐々木専務理事、柴田事務
			局長
7. 4	監査会	当所	吉田副会頭
7. 7	定期総会	おルコーオータニ鳥取	三役
7. 26	経営支援専門員等研修	倉吉未来中心	油井主事、田中主事、河嶋、
			檜垣、椿原
8. 19	第3回幹事会	米子商工会議所	佐々木専務理事、柴田事務
			局長
11.30	第4回幹事会	おルセントハ゜レス倉吉	佐々木専務理事、柴田事務
			局長
H29. 1. 12	鳥取・島根両県事務局長会議	パレットごうつ	柴田事務局長
2. 1	鳥取・島根両県専務理事会議	ひらたメイプルホテル	佐々木専務理事
	県内中小企業相談所長会議	倉吉シティホテル	森相談所長
3. 10	第5回幹事会	米子商工会議所	佐々木専務理事、柴田事務
			局長

議会

マンの道振興協 幹事 専務理事 佐々木敬宗

2. 会議等

開催年日	会 議 名	場所	出席者
H28. 6. 22	幹事会	倉吉商工会議所	佐々木専務理事、柴田事務局長
7. 13	総会	JJ	倉都会頭、佐々木専務理事、柴田
			事務局長

会

- (5) 鳥取中部・真 1. 役員等 会長 会頭 **倉都**祥行 庭地域振興協議 幹事 専務理事 佐々木敬宗
 - 2. 会議等

開催年月日	会 議 名		場 所	出 席 者
H28. 6. 17	幹事会	当所		佐々木専務理事、柴田事務
				局長
7. 22	総会	望湖楼	(はわい温泉)	倉都会頭以下4人
		1		

(6)関係団体

(事務受託団体)

団 体 名	会 長	事務所所在地	会員数
(一社)鳥取県経営者協会中部支部	谷岡 忠範	倉吉商工会議所内	24 社
倉吉青色申告会	牧田 泰博	(倉吉市明治町)	245 人

倉吉商店会連合会 小林 健治 " 3 商店 鳥取県中部青色申告会連合会 牧田 泰博 " 5 倉吉税務関係団体協議会 谷岡 忠範 " 5	4社
鳥取県中部青色申告会連合会 牧田 泰博 " 5 倉吉税務関係団体協議会 谷岡 忠範 " 5	社
倉吉税務関係団体協議会 谷岡 忠範 " 5	等
	団体
中小企業中部友の会 江原 實 " 3	団体
	3社
鳥取看護大学・鳥取短期大学と地域の発 倉都 祥行 " 33	5人
展を推進する会	
鳥取県経済同友会中部地区 河本 義永 " 2	入
鳥取県観光みやげ品協議会 河越 行夫 ″ 4	4社

11. その他

1. 職員研修会等への参加

開催年日	研 修 会 名	場所	出席者
H28. 10. 4-5	経営指導員向け小規模事業者支援研修(個	倉吉シティホテル	田中主事
	者支援型研修)		
10. 5	商工会議所経理担当職員研修会	フクラシア東京	入澤主事
18-20	販路開拓支援の進め方研修(中小企業大学	中小企業大学校関西校	鷲見係長
	校)		
11. 7-12. 2	中小企業支援担当者研修(中小企業大学	中小企業大学校東京校	河嶋主事
	校・基礎研修)		
11. 10-11	商工会議所経理担当職員研修会(管理職	日本商工会議所	山根課長補佐
	向)		
H29. 2. 8-10	中小企業大学校研修(中小企業大学校)	中小企業大学校広島校	油井主事